



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月6日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4323 URL http://www.jast.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平林 武昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 大門 紀章 TEL 06-4560-1000
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,506	9.7	96	—	140	—	65	—
29年3月期第3四半期	9,574	19.4	△38	—	10	—	△28	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 92百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	12.42	—
29年3月期第3四半期	△5.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	10,345	5,701	54.7	1,077.99
29年3月期	10,281	5,741	55.4	1,084.74

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,657百万円 29年3月期 5,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,625	2.8	790	38.3	795	27.4	470	14.4	89.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	5,612,230株	29年3月期	5,612,230株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	364,210株	29年3月期	364,210株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	5,248,020株	29年3月期3Q	5,248,020株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続く中で各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調を維持しておりますが、米国や欧州の政治動向の影響や中国を始めとするアジア新興国の下振れ懸念、英国のEU離脱、相次ぐテロの発生など海外経済の不確実性が高まり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

国内IT産業につきましては、直近の統計(経済産業省、特定サービス産業動態統計11月確報)において、平成28年度の売上高前年比が1.3%増(平成27年度の売上高前年比は2.6%増)とプラス傾向を継続しており、さらに単月においても平成28年8月度から平成29年11月度までの間、平成29年8月度を除くすべての月において売上高前年同月比で増加を記録する等、業界全体として緩やかな拡大基調にあると認識しております。

このような環境下、当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、売上高105億6百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益96百万円(前年同期は営業損失38百万円)、経常利益1億40百万円(前年同期比1,281.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益65百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円)となりました。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業(受注ソフトウェアの個別受託開発)につきましては、サービス・流通業、金融・保険・証券業及び官公庁向け案件等が前年より減収傾向で推移したものの、製造業及び通信業向け案件がそれぞれ増収となり、売上高72億94百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益1億57百万円(前年同期比56.5%増)となりました。

次に、パッケージ事業(学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス)につきましては、仕入販売及び運用サービスが前年を下回った一方で、EUC(End User Computing:パッケージの周辺システムの受託開発)、導入支援及び大学向けPP(プログラム・プロダクト)販売といった収益性の高い案件項目が増収となり、売上高13億41百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益9百万円(前年同期は営業損失43百万円)となりました。

次に、システム販売事業(IT機器の販売及び情報通信インフラの構築)につきましては、サービス・流通業、大学及び公共系案件の増収により、売上高12億91百万円(前年同期比96.9%増)、営業損失15百万円(前年同期は営業損失25百万円)となりました。

最後に、医療ビッグデータ事業(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)につきましては、自治体向けレセプト管理クラウドサービスの導入が堅調に推移し、売上高5億78百万円(前年同期比14.7%増)、営業損失58百万円(前年同期は営業損失64百万円)となりました。

(当社グループの四半期業績の特性)

当社グループの事業であるソフトウェア、パッケージ及びシステム販売の特性といたしましては、顧客の検収時期が多く企業の会計期末にあたる3月に大きく集中し、次いで第2四半期末に当たる9月に集中する傾向があります。したがって、例年当社グループの第1、第3四半期連結会計期間の収益は、第2、第4四半期連結会計期間と比較して相当に少額となる特色があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は78億40百万円(前連結会計年度末比89百万円増)となりました。これは主として売掛金の回収、前受金の増加並びに短期借入の実行による現金及び預金の増加並びに仕掛品の増加によるものであります。また、固定資産の残高は25億5百万円(同25百万円減)となりました。

次に、流動負債の残高は31億65百万円(同87百万円増)となりました。これは主として前受金の増加及び短期借入の実行並びに賞与引当金の減少によるものであります。また、固定負債の残高は14億78百万円(同16百万円増)となりました。

最後に、純資産の残高は57億1百万円(同39百万円減)となりました。これは主として当第3四半期連結累計期間におけるその他の包括利益累計額の増加及び利益配当金の支払によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の状況は、期首の資金残高19億51百万円より6億11百万円増加し、25億62百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、4億57百万円の収入(前第3四半期連結累計期間は2億92百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが1億65百万円増加した要因は、主として売上債権の回収にかかる収入が増加した一方で、たな卸資産にかかる支出が減少したこと等によるものであります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、33百万円の支出(同29百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが62百万円減少した要因は、有形固定資産及び子会社株式の取得による支出が減少した一方で、定期預金の解約による収入が減少したこと等によるものであります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、1億84百万円の収入(同1億8百万円の収入)となりました。前年同四半期連結累計期間に比べキャッシュ・フローが75百万円増加した要因は、主として短期借入の実行額の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日発表しました売上高146億25百万円(前連結会計年度比2.8%増)、営業利益7億90百万円(同38.3%増)、経常利益7億95百万円(同27.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4億70百万円(同14.4%増)から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,365,633	2,978,968
受取手形及び売掛金	4,374,348	3,081,321
商品及び製品	86,509	225,536
仕掛品	505,244	1,139,598
原材料及び貯蔵品	3,317	2,211
繰延税金資産	270,257	203,891
その他	149,426	210,798
貸倒引当金	△3,858	△2,004
流動資産合計	7,750,879	7,840,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	669,615	655,165
減価償却累計額	△347,533	△366,474
建物及び構築物(純額)	322,081	288,691
土地	142,361	142,361
その他	375,955	379,515
減価償却累計額	△241,349	△269,396
その他(純額)	134,606	110,119
有形固定資産合計	599,049	541,171
無形固定資産		
のれん	40,491	31,699
ソフトウェア	109,996	84,915
その他	7,626	7,626
無形固定資産合計	158,114	124,240
投資その他の資産		
投資有価証券	625,020	711,944
退職給付に係る資産	479,037	493,254
繰延税金資産	76,560	57,136
差入保証金	376,763	371,696
その他	260,605	250,619
貸倒引当金	△44,649	△44,609
投資その他の資産合計	1,773,336	1,840,041
固定資産合計	2,530,500	2,505,454
資産合計	10,281,379	10,345,776

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,122,286	1,067,000
短期借入金	26,678	360,797
1年内返済予定の長期借入金	8,400	8,400
未払法人税等	281,537	15,044
賞与引当金	615,341	316,837
役員賞与引当金	29,174	21,015
工事損失引当金	1,561	—
その他	993,321	1,376,856
流動負債合計	3,078,301	3,165,952
固定負債		
長期借入金	28,000	22,400
役員退職慰労引当金	413,048	419,124
退職給付に係る負債	870,683	907,375
その他	150,188	129,254
固定負債合計	1,461,920	1,478,154
負債合計	4,540,222	4,644,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,076,669	1,076,669
資本剰余金	994,621	994,621
利益剰余金	3,740,158	3,674,127
自己株式	△266,539	△266,539
株主資本合計	5,544,909	5,478,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,686	131,384
為替換算調整勘定	△13,063	△16,544
退職給付に係る調整累計額	75,227	63,605
その他の包括利益累計額合計	147,850	178,445
非支配株主持分	48,396	44,344
純資産合計	5,741,157	5,701,668
負債純資産合計	10,281,379	10,345,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,574,776	10,506,786
売上原価	7,909,908	8,512,423
売上総利益	1,664,867	1,994,362
販売費及び一般管理費	1,703,538	1,897,669
営業利益又は営業損失(△)	△38,670	96,693
営業外収益		
受取利息	6,065	5,607
受取配当金	5,894	6,058
受取賃貸料	10,406	9,954
受取補償金	15,107	—
為替差益	—	5,909
保険解約返戻金	—	5,226
助成金収入	11,264	11,817
その他	12,544	7,135
営業外収益合計	61,283	51,708
営業外費用		
支払利息	1,028	901
賃貸費用	9,931	4,586
その他	1,469	2,275
営業外費用合計	12,429	7,763
経常利益	10,183	140,638
税金等調整前四半期純利益	10,183	140,638
法人税等	39,221	80,395
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,038	60,243
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△153	△4,925
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,885	65,169

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,038	60,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,623	45,698
為替換算調整勘定	△12,655	△1,842
退職給付に係る調整額	△13,966	△11,622
その他の包括利益合計	△999	32,232
四半期包括利益	△30,037	92,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,502	95,764
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,534	△3,287

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,183	140,638
減価償却費	59,510	79,701
ソフトウェア償却費	29,900	31,871
のれん償却額	10,529	8,792
賞与引当金の増減額(△は減少)	△128,388	△298,544
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	51,532	36,184
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△12,580	△14,217
受取利息及び受取配当金	△11,959	△11,665
受取補償金	△15,107	—
支払利息	1,028	901
売上債権の増減額(△は増加)	501,555	1,291,902
前受金の増減額(△は減少)	318,231	351,720
たな卸資産の増減額(△は増加)	△369,629	△772,156
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,557	△55,288
その他	△1,229	△100,174
小計	402,019	689,665
利息及び配当金の受取額	12,987	12,541
利息の支払額	△1,145	△935
法人税等の支払額	△136,350	△243,523
補償金の受取額	15,107	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,618	457,747
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	114,230	△23
有形固定資産の取得による支出	△50,701	△18,994
ソフトウェアの取得による支出	△4,119	△16,060
投資有価証券の取得による支出	△1,440	△31,717
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	9,260
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△26,827	—
保険積立金の解約による収入	—	12,275
差入保証金の差入による支出	△564	△1,368
差入保証金の回収による収入	591	12,485
その他	△1,814	1,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,354	△33,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	254,863	333,438
リース債務の返済による支出	△10,701	△11,746
長期借入れによる収入	42,000	—
長期借入金の返済による支出	△45,235	△5,600
配当金の支払額	△131,200	△131,200
非支配株主への配当金の支払額	△1,164	△764
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,562	184,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,969	2,355
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	427,566	611,192
現金及び現金同等物の期首残高	1,447,493	1,951,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,875,059	2,562,650

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	7,114,250	1,300,150	655,582	504,792	9,574,776	—	9,574,776
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,023	—	124,982	—	190,005	△190,005	—
計	7,179,274	1,300,150	780,564	504,792	9,764,782	△190,005	9,574,776
セグメント利益 又は損失(△)	100,698	△43,983	△25,087	△64,359	△32,732	△5,938	△38,670

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ソフトウェア事業において、第1四半期連結会計期間に株式会社アイエスアールの株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの発生額は45,284千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	7,294,946	1,341,836	1,291,083	578,920	10,506,786	—	10,506,786
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,426	—	20,759	—	69,186	△69,186	—
計	7,343,373	1,341,836	1,311,843	578,920	10,575,973	△69,186	10,506,786
セグメント利益 又は損失(△)	157,564	9,169	△15,032	△58,089	93,613	3,080	96,693

(注) 1. 調整額のセグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。